

「学校ってほんとはマスクしていかんくていい所なん？」
って彩葉あやはから聞かれた時とき、涙なみだが出たよ。

彩葉にとったら、

マスクは制服せいふくの一部いちぶだったんだね。

二年生か三年生になったら、

きっとマスクなしで学校いに行けるよ。

小林こばやし
実賀みか（母）

ふつうのがっこうせいかつを

一かいでもしてみたいな。

きゅうしよくを

ひとりでおしゃべりもせずに

たべるのがちよっとひまだよ。

マスクにはもうなれたけど、

マスクなしでがっこうにいつてみたいな。

小林
彩葉あやは（小1）
金沢市

小学生のお兄さんになったから教えるね、

綾乙あやとの名前なまえのひみつ！

綾あやとって漢字かんじにある糸の字は、

実じつはお母さんの名前にもついてるんだよ。

いつもどんな時ときも

お母さんが見えない糸でつながってるよって、

思おもいをこめました。

名倉なくら 香織かおり（母）

じゃあ、がっこうでべんきよう

ちゃんとしてなかったら、

すぐみつかってしかられるね。

でも、おかあさんといっしょはちよつとうれしい。

あやとってなまえ、

ずっとすきやったけど、

もっともつとおきにいりになったよ。

名倉 綾乙あやと（小1） 宝達志水町

りずへ

(土・日)(にち) おしごとのママは、

なかなかいっしょに

あそんであげられなくてごめんね。

それでもわがママをい言わない

りずにかんしゃしています。

今度(こんど)のお休みは、りずといっしょにあそぼう！

ママより

北川きたがわ
真弓まゆみ
(母)

ママへ

ママとわたしは、

なんでお休みの日がちがうんだろう。

ママといっしょにあそびたいのに

本とうはさみしいよ。

でも、つぎのお休みは、いっしょにあそぶって

やくそくしてくれてすごくうれしいよ。

りずより

北川
莉珠りず
(小2 小松市)

雨の日も雪の日も、
毎日必ず歩いて登校する姿、

とてもすばらしいよ。

本当は、車で送ろうかなと思っただ日もあったけど、
何も言わず歩いている姿、

見えなくなるまで見ているんだよ。

このことはおかあさんのじまんだよ。

森田 里美 (母)

あらしの日も歩いて登校できたのは、

お母さんがおうえんしてくれたおかげだよ。

ぼくが、見えなくなるまで見ているの、

知らなかったよ。

ぼくは、雨にも風にもどんなことにもまけない

強い男になるからね。

森田 樹生 (小3 羽咋市)

感謝状 お母さん殿

どんな時でもかわいい弟を生んでくれたこと、

そして、弟を通して

ぼくを立派なお兄ちゃんにしてくれたことを表彰します。

これからも、ぼくたち三兄妹弟を

よろしくお願いします。

本当にありがとうございます。

柘植 雄心（小4 小松市）

認定証 お兄ちゃん殿

我が家における

三妹弟のお世話試験に合格したので

二級として認定します。

今後ともお兄ちゃんとして

頑張りすぎない姿を妹弟に見せてあげて下さい。

恥ずかしがらずにお母さんに甘えれば一級です。

柘植 裕起子（母）

早起きは、三文のとくです。

① おばあちゃんが宿題を見てくれる。

② 気持ちよく宿題が終わる。

③ ほめてもらえて、おかしがもらえる。

だからこれからも、

がんばって早起きするよ。

おばあちゃん、これからもよろしくね。

三澤 琴葉（小4 珠洲市）

毎朝五時三十分になると、

あちこちからけたたましく目覚まし時計が鳴り響き、

すぐ二階から「おはよう」と

元気な声と笑顔で駆け降りて来る琴葉。

頑張り屋で、負けず嫌いな琴葉。

ばあちゃんも、

毎日元気をもらっているよ。

三澤 和歌子（祖母）

「今日の昼ご飯何がいい。」って

ママはいつもきくよね。

その時、私はいつも、

「カップメンでいい。」っていうね。

その時、ママは悲しい顔をするね。

ママに迷惑をかけたくないだけだったけどちがったね。

ママの手料理大好き。

西野 椎奈（小5 加賀市）

ママの料理がおいしくないのかな。

苦手なピーマン入れるからかな。

とおもっていただけ

そうじゃなかったんだね。

迷惑だなんて一度も思ったことないよ。

「おいしかった。また作ってね。」

が聞けるようにがんばるね。

西野 みちる（母）

父さん、
いつも家に帰ったら、一度もすわらず、
夜おそくまで家事をしてくれてありがとう。
仕事もいっぱいしてくれて、
どの指もわかれて、ザラザラになっているね。
ぼくもがんばるから、
父さんもがんばってね。

亀田 桔平（小5 川北町）

お父さんのことを
こんなによくみているなんて、びっくりしたよ。
桔平には、
いろいろな手をかしてもらって、
本当に助かってるよ。
ありがとう。
これからもお父さん、まだまだがんばるよ。

亀田 孝（父）

とうちゃんが作る料理は
まんでおいしいよ。

とくにあきほは、オムライスがすきです。

あと、とうちゃんが作る

ハタハタのつけが世界一です。

あと、とうちゃんの焼き魚の食べ方も世界一です。

これからもよろしくね。

坂口 明帆（小5 能登町）

おいしいと言って食べてくれることが

とてもうれしいです。

もっと言ってもらえる様に

腕を磨きます。

あなたが食べ終わった焼き魚をたまに食べますが

まだまだ骨の周りのおいしい所が残っていますよ。

これからもよろしく。

坂口 貴紀（父）

おじいちゃん

ぼくは、とこやになって

おじいちゃんのお店をつぐよ。

ぼくは、おじいちゃんのみまごだから、

お店をついで、お店を守るよ。

だから大人になるまで待っててね。

いつかいつしよに仕事しようね。

梅田 恵太郎（小6 白山市）

恵太郎、ありがとう。

そんなふう^{おも}に思^{おも}ってくれてじいちゃん^{しあわ}幸せや。

じいちゃん^{なん}は、恵太郎^{なん}が床屋^{なん}でも何^{なん}でも

自分^{じぶん}が本当^{ほんとう}に好き^すなことを仕事^{しごと}にしてくれれば、

それで言う^いことなしや。

未来^{みらい}に向けて頑張^{がんば}れ!!

応援^{おうえん}しとるよ。

室井 幸雄（祖父）

お父さん、

ぼくはおばあちゃんやお母さんたちから

お父さんの子供のころと、

細い目、太いまゆげ、小さい耳、

固くてまっすぐなかみや、なよなよしてる性格まで

そっくりだと言われるけど、それがイヤです。

似てないぞ！

東陽正（小6 金沢市）

ハル、

父さんに似ているのがイヤか？

父さんは、この顔、この性格で

45年間一生懸命に生きてきたんだぞ。

それなりにいい人生を歩んできたよ。

ハルには似た人生ではなく、

ハル自身の満足する人生を築いてほしい！

東正彰（父）

最近、お母さんの身長をこしたよね。

毎日鏡の前で背比べをして、楽しかったよ。

これから、お母さんの全部を

こしちゃったらどうする？

くやしい？

何個かは下でもいいな。

もうしばらくあまえたいから。

宍網 一稀（小6 羽咋市）

全然くやしくないよ！

身長をこされる日を、

十二年前から楽しみにしてたんだから。

この調子で、お母さんの全部をおいこしてね。

下でいても良いのは年齢だけだよ。

全部おいこしたら、

今度はお母さんが一稀に甘えるね。

宍網 裕香（母）

この間、通りすがりに、
横断歩道を渡り終えた中学生が
信号待ちの運転手さんに
丁寧（ていねい）に頭（あたま）を下（さ）げている姿（すがた）を見（み）かけて、
何（なん）て素敵（すてき）な中学生（ちゅうがくせい）って心（こころ）が温（あたた）かくなつたんだ。
その子（こ）が顔（かお）を上（あ）げた瞬間（しゅんかん）、あなたとわかり、
成長（せいちょう）を感じ（かん）じたよ。

山元 浩美（母）

いつも陰（かげ）で支（さ）えてくれてありがとう。
顔（あ）を合（あ）わせると悪口（わるくち）しか出（で）てこない。
こんな娘（むすめ）でごめんなさい。
小さい時（とき）よく歩（あ）いて散歩（さんぽ）したよね。
その時（とき）のお母（おはは）さんの姿（すがた）が今（いま）の私（わたし）の姿（すがた）です。
私（わたし）に挨拶（あいさつ）を教（おし）えてくれた先生（せんせい）、
自慢（じまん）の母（はは）です。

山元 浩花（中1） 珠洲市

いつも家族皆の相談を聞いてくれて、
家族三人分の負の感情がママにのっかかっているはず。
なのにママは

ずっと明るくて、笑顔で、優しく、

他人の悪口なんて絶対言わない。

私もママみたいになりたい。

強くなりたい。

山下
紗葵（中2 金沢市）

ママも中学生の頃は、

人間関係で悩んだよ。

大人になってからも悩みの連続。

一番の相談相手は、ばあちゃんなんだよ。

親子って最強だね。

紗葵が思う程強くないけど、

いつでも相談窓口開けて待っているよ。

山下
典子（母）

ちよつと酔っぱらったくらいが

一番おもしろい父ちゃん。

そんな父ちゃんは少し赤い顔で、

寿司を片手に、僕にこう教えてくれました。

「人生ってワサビやて。」

少し反応に困ったけど

その言葉には深い意味がありそうです。

谷内 敦哉（中3 珠洲市）

人生が進むにつれて、

社会の中で主役になれなかったりする事もあると思いますが、

お寿司のワサビのように

主役の引き立て役は必ず必要です。

敦哉のこれからの長い人生、

どんなポジションでも

必ず光が当たりますよ。

谷内 庄一（父）